

いわなみキッチン すそのミニ講座 (第2回)

## 地図化すると世の中が見えてくる

伊藤 智章 (静岡県立裾野高校教諭)



1. 自己紹介 . . . 1973 年富士市生まれ (43 歳)。立命館大学大学院を卒業後、三重、奈良、京都、北海道での教員生活を経て帰郷。県内初任の長泉高校で実質的な閉校 (移転・改編) に立ち会う。裾野高校は県内 3 校目で現在 5 年目。2017 年～「総合学科広報戦略室長」(初代) に就任。  
日本学術会議地理教育小委員会委員・日本地図学会常任委員・NPO 法人伊能社中ティーチングフェローなど。

### 2. 2022 年、地図帳は「デジタル」になる

- ・ 2022 年 高校で「地理」が必修化されます (約 20 年ぶり)
  - ・ 新科目「地理総合」の目玉は「アクティブ・ラーニング」
  - ・ 覚える、知っている地理→読み取る、しゃべる (言語化する)、使いこなす
- 39 歳以下の教員の多くは高校で地理を履修していない  
→ 「競技経験なきコーチ陣」と「レアキャラ」なギルドマスターの混在

. . . . 大丈夫か？地理教育業界

### →解決のためのキラーコンテンツ「デジタル地図帳」

- ・ Stroy (ストロリー) . . . 京都のベンチャー企業が開発したスマホ用 Web 地図閲覧システム (<https://stroy.com/>)
  - オフライン版の地図アプリ「ふじぶらり」を監修 (2011～)
- ・ Web ベースで動くシステムが開発され、これまでの課題がクリアされつつある。
- ・ タブレット . . . 学校に据え置き (裾野高校では現在 17 台) → 個人持ちへ(?)
  - 電子辞書、「資料集」のデジタル化が進めば原則購入になる可能性高い。
- 無線 LAN の整備、生徒のスマホの SIM の使い回しでも利用可能
- ・ タブレットは「地図の iPod」になる
- ・ 「紙の地図帳」は、なくなりません。
  - むしろ活用の頻度は上がります。



### 3. 巨大な未開拓市場・・・「高校で地理を学ばなかった社会人」の学びなおし 「地図化すると世の中が見えてくる」(ベレ出版：2016)

- 1章 「地図と地理」そもそも地図って何？
- 2章 自然環境を地図化する
- 3章 産業を地図化する
- 4章 資源エネルギーを地図化する
- 5章 生活・文化を地図化する
- 6章 人口を地図化する



○Amazonで3か月ぐらい1位をキープ【地図・その他】

○Web マガジンが取り上げてくれました

①「幻冬舎 Gold Online」・・・「富裕層向け」／連載 15 回

②「Hon to Biyo」・・・「本と美女」／女性向け(?)  
・「ああ、そこそこ売れてるよ」・・・生徒もちょっとドヤ顔

○「Part 2」(脱稿→編集中)「Part 3」

○市場が拡大 強力なライバルが登場

- ・大手予備校の「東大コース」の先生方  
の本が相次いでヒット

(ある意味で自分とは好対照)  
→競争と連携を模索中  
(歴史に続け！)



### 4. まとめ 地理教師は、「地図」のプロ。積極的なコラボを

- ・企画力が問われるクリエイティブな仕事
- ・「地図」に言葉は要らない・・・国籍、業界を軽々と超える
- ・教師よ、学校を出よ
- ・地図を描くこと・・・自分、業界、職場、地域を俯瞰する作業  
→マーケティング、ブランディングの根本  
ビジネススキルとしても有用

○ビジネスに利く「地図のクッキング」教室

・・・レギュラー化できたらなあと思います。